もっと走る もっと運ぶ もっと稼ぐ
FUSO TRUCK & BUS MAGAZINE
JULY 2014 [No.027]
7

［特集1］
バスはこうして造られている（マネジメント編）
販売・開発・製造が三位一体となって取り組む理由（わけ）

［特集2］
三菱ふそうの「MDAS-Ⅲ」（運転注意力モニター）はどこが優れているのか?!

［ユーザーレポート］
乗合バスのさらなる経営効率化へ
（神奈川中央交通株式会社）

All for you
FUSO
もっともっとGoodなサポート宣言!
MITSUBISHI FUSO TRUCK & BUS CORPORATION

ユーザーレポート
User Report 成長のチカラ

神奈川県平塚市

神奈川中央交通株式会社

創業から93年。全935系統、2100車両以上を運行させ、一日の利用者数は63万人。神奈川県内の路線バスにおいて一位のシェアを誇る神奈川中央交通株式会社。全国的にバス利用者の減少が問題視されている時代背景において同社は、コスト面、サービス面、安全面と多岐にわたって経営の課題に積極的に取り組んでいる。

取締役社長　**三澤 憲一** 氏

「これからも愛されるバスであるために、
あらゆる面で弛みのない努力が不可欠」

法人名：神奈川中央交通株式会社
本　社：神奈川県平塚市八重咲町6−18
設　立：大正10年6月5日
取締役社長：三澤憲一
従業員数：2,732名
保有車両：2,123台

コスト、サービス、安全性。経営効率を高め、愛される路線バスへ。

時代のニーズを見出し、さらなる経営効率化を図るための数々の施策。

バスの輸送効率を高めコストを抑える経営戦略

全国的に生産年齢の人口が減少し、高齢化社会を迎えつつある時代背景のもと、通勤・通学の足となる路線バスを取り巻く環境は、確実に変化を遂げている。神奈川県の広域と東京都の一部で運行する神奈川中央交通だが、利用者数は平成4年にはピークアウトしていると、取締役社長の三澤憲一氏は語る。

「およそ半世紀前には、全国で101億人の路線バス利用者がいました。それが現在では、40億人強だといわれています。当社の場合は、去年の利用者数が2億3千万人。前年比で微増してはいるものの、業界の全国的なトレンドとしては危機的な傾向にあるといえます」

そうした状況下で、いかに経営を支えていくか。そのための試行錯誤を怠ることはない。

三澤社長が経営者としての大命題だと語るのは、コストの削減である。

「人口が減少するなかで、さらなる利用を促すためにどうすれば良いか。そう考えたとき、乗合バスに付加価値を付けるのは非常に難しいといえます。そこで取り組むべきは、コストの削減です。コストを抑えて運賃を下げるために、これまでたくさんの企業努力をして参りました。その甲斐もあって、関東の中では、競合他社に比べても低い平均賃率でご利用いただいております」

コストを抑える効率化のために具体的に取り組んでいる事例が、連節バス「ツインライナー」の導入である。同車両を需要の多い路線に採用することで、人件費を抑えつつ2倍の乗客を輸送することができる。これによってバスに乗車できない顧客を大きく減少させることもできた。

ピーチピンクのカラーリングが美しい連節バス「ツインライナー」。通常バスの2倍の輸送力を武器に、需要の多い路線での効率的な輸送で活躍。

三菱ふそうユーザー様の声はWeb「OWNERSVOICE」でもご覧いただけます。　http://fusoeco.com/voice/

サービス向上のための全ドライバーを対象とした接遇教育

日頃、他社路線と料金比較をする機会のない顧客にとって、コスト削減の理解を得ることは難しい。より愛着を持ってもらうための施策として、顧客の目線に立ったアプローチは不可欠だ。そのため同社では、接遇にも力を注いでいる。

「当社では4年前からすべての乗務員を対象としてANAグループの教育研修会社に接遇マナーの研修を依頼しております。第一印象の大切さや顧客心理、正しい敬語の使い方など接遇の基本を学ぶことから始まり、発声練習や車内アナウンスの練習、お客様役とドライバー役に分かれた実務レベルでのケーススタディなど、一日かけて研修を行うのですが、これが参加者からも大変好評です」（運輸営業部長 渡邊大和氏）

運輸営業部長 **渡邊 大和** 氏

「事故防止対策委員会で抽出された様々な問題は、各営業所へフィードバックされます」

マスコットキャラクターとして誕生した「かなみん」のデザインが施されたラッピングバスが、この6月にデビュー。

労使一体となった事故防止対策により事故発生件数を削減

接遇を重んじる一方で、安全性の追求も至上命題だと三澤社長は語る。神奈川中央交通では、昭和34年から、事故防止対策委員会を発足。月に一度、事故を惹起した本人から事故の詳細を聞き、労使一体となって事故原因と防止策の検証にあたっている。そのほか、発進時の事故を防止するために、左右および下方を安全確認する指差呼称を昭和53年から励行。平成20年には、運転操作全般を評価するセイフティレコーダを導入するなど、事故防止に向けて新しい試みを実施し続けている。安全運転に努める乗務員へのケアも忘れない。事故を起こさなかった乗務員は3年ごとに表彰され、このとき授与される手当ては、次回の表彰時に加算されていく。加えてこの6月からは、新たな制度も導入している。

「グループごとに連帯感をもって事故防止に取り組んでもらうために、一年間無事故だった班には、賞金を出すことにしました」（渡邊部長）

こうした取り組みが功を奏し、確実に事故件数は減少傾向にあるという。

地方自治体と一体となってさらなるサービスの追求へ

「お客様へのサービスと事故防止は、経営を行う上で不可欠な要素です。いま私たちは、お客様のためにどういったサービスを提供できるのかを考えながら、デマンドバス※1や子会社の乗合タクシーなどといった運用を試験的に行っています。

路線バスの復権には、地方自治体の協力も欠かせません。しかし残念ながら自治体によっても温度差があります。お互いがもっと真剣に考えていかなければなりません。相模原市が取り組んでいる田名地区の交通結節点※2『田名バスターミナル』では、バス待ち環境の向上や乗継割引などを実践していますが、こうした取り組みが乗り継ぎ問題を解消させる一つの試金石になるのではないでしょうか。顧客を維持し続けるためにどのようなサービスを提供できるか、当社はこれからも追求して参ります」（三澤社長）

JR「平塚」駅のすぐ近くにある本社ビル。女性社員も多く、働きやすい職場環境。

自社給油施設も整っている相模原営業所では、187名の乗務員が在籍。

※1 デマンドバスとは、利用者の要求に対応して運行する形態のバスのこと。
※2 交通結節点とは、人や物の輸送において複数の交通手段の接続が行われる場所のこと。ハブとも呼ばれる。

すべてはお客様の利益のために〜

バスは、こうして造

開発・生産・販売が三位一体となって、お客様がご要望するバスをスピー

お客様のご要望を
スピーディにカタチにすることが
私たちの使命です。

バス事業本部長
橋口 博光

2012年に現在のバス事業本部体制になって以来、私たちは“お客様目線”の基本に立ち返り、お客様のご要望に的確かつスピーディにお応えできる体制づくりに邁進して参りました。そのためにまず注力したのが、販売だけでなく、開発や生産部門の技術スタッフが直接より多くのお客様を訪問し、ご要望をお聞きする機会を増やしたことです。と同時に、開発・生産・販売の各部門間のコミュニケーションをより緊密にするため、フェイス・ツー・フェイスで話し合う機会を定期的に設けるなど、三位一体でお客様のご要望や課題解決に立ち向かう体制を強化して参りました。こうした取り組みは今日、着実に成果を上げつつあります。

すべてはお客様の利益のために——。私たちは、こうして築き上げてきた開発・生産・販売が三位一体となったコミュニケーションをベースに、品質の向上、部品の供給改善、生産コストの削減に取り組みながら、さらにスピード感を上げてお客様のご要望に応えて参ります。

年2回開催されるタウンホールミーティング

**バス関連部門のスタッフが
タウンホールミーティングにて一堂に会します。**

三菱ふそうのバス事業本部では、毎年2回バス関連の設計・生産・販売のスタッフが一堂に会するタウンホールミーティングを開催しています。ミーティングでは、事業本部長より、計画の達成状況の報告をはじめ、各種研修会やワークショップなど、フェイス・ツー・フェイスでの密度の濃い時間を共有することで「ふそうバスチーム」の一体感を醸成していくことが大きな目的です。

与えられたテーマについて各部門のスタッフがグループに別れ、それぞれ解決策を見出していくワークショップの様子。

■お客様の声

ステップに暖房がほしい

明るいヘッドランプが欲しい

もっと軽量化できないか

錆対策の強化を

お客様の声を
早い段階から
開発に活かすために

開発本部
バス開発統括部長
櫻田 徹

「開発」

2012年から開発部門で取り組んでいるのが「BUS WINS」活動です。お客様とWin-Winになることを目指してスタートさせたもので、開発部員がお客様を訪問してご意見やご要望をお聞きし、それを開発に活かしていくという取り組みです。もちろん、「BUS WINS」活動で得た情報は生産、販売部門とも共有化し、お客様へのスピーディな対応、提案活動などにも活用されています。新発売の14型エアロスターは、クラス初のディスチャージヘッドランプを標準装備させるなど、「BUS WINS」活動の成果が各所に具現化されています。

これからも開発・生産・販売の三位一体化をさらに進め、お客様の声を開発の早い段階から取り入れてご要望にマッチしたバスをスピーディにお届けして参ります。

られている（マネジメント編）

ディにお届けします

お客様の多種多様なご要望を的確にフィードバックするために

「販売」

バス事業本部副本部長
バス販売部長
木村 真二

バスは特別仕様が多く、いわばオーダーメイドの世界です。それが故にお客様との距離が近く、様々なご要望やアイデアを戴いて今のエアロがあるんだと感じています。お客様の窓口として、そうしたバスごとの多種多様なご要望をお聞きし、開発や製造にその情報をフィードバックして、製品に反映していくのが私たち販売部の役割です。そこで求められるのはスピードです。クイックレスポンスの実現には、開発、製造部門との緊密な連携が不可欠であり、この間の三位一体体制の強化によってスピードアップが図られてきました。

今後はさらに提案力を磨き、アフターサービスも含め、窓口責任者としてお客様との信頼関係をさらに深めていく努力が必要であると考えています。

お客さまがご要望するバスをスピーディに製造するために

三菱ふそうバス製造株式会社
取締役社長
村山 節男

「生産」

三菱ふそうバスを一手に製造しているのが、私たち三菱ふそうバス製造(株)です。仕様書作成の際にも当社の技術スタッフがお客様のもとに伺い、詳細を決定する作業をさせていただいています。また、バスは車両をお引き渡しする前にお客様とともに「検収」を行います。ここでお客様の細かな評価をいただくことになります。こうした情報は当社の技術部門や生産部門だけでなく、三菱ふそう本体の開発や販売部門でも共有され、次の開発へと活かされていきます。

このように私たちは、生産部門として製造品質の向上や低コスト体質の追求、物流の最適化などに取り組むとともに、開発・生産・販売の三位一体化を進め、お客様にとって価値あるバスを提供していく所存です。

三菱ふそうバス製造株式会社（富山）は、国内唯一の大中小バス一貫生産工場。
豊富な製造ノウハウが蓄積されている。

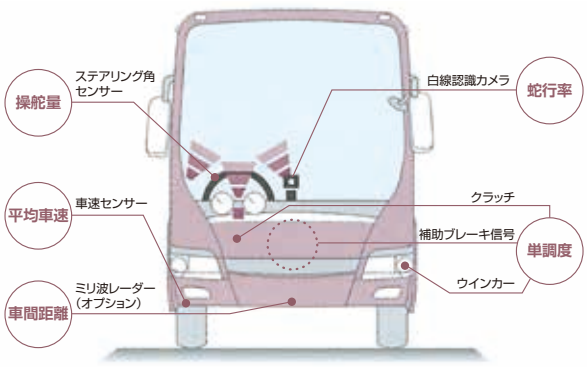
アクティブセーフティ

より早い段階での「予防安全」を重視!

危険を事前に感知し、警告するMDAS-Ⅲ
（運転注意力モニター）

MDASは1996年、三菱ふそうが世界で初めて発売した運転注意力モニターです。
高速走行時、ドライバーの運転状態を常にモニターし、注意力低下を警報するシステムで、MDAS-Ⅲは、その3代目の機種。
「より早い段階での予防安全」を具現化した三菱ふそうが誇る、独自の先進安全技術です。

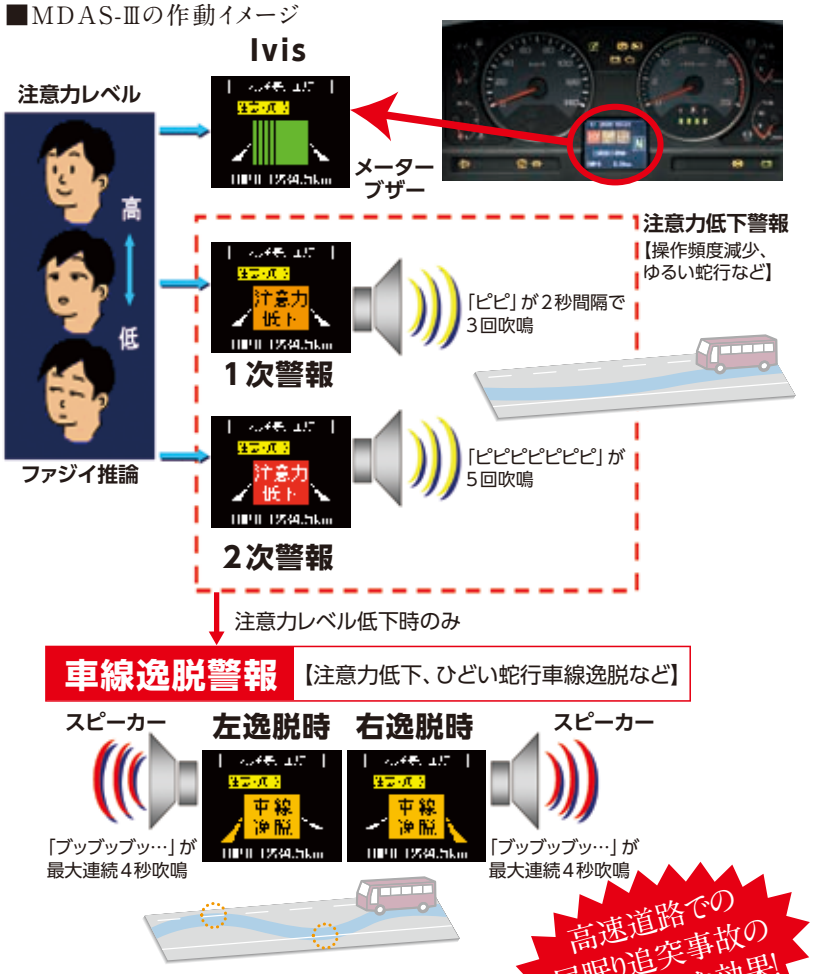
■MDAS-Ⅲのシステム図



［特　徴］

- MDAS-Ⅲは、走行状況やドライバーの運転特性を学習するとともに、白線認識カメラや各種センサーの情報から運転注意力を推定します。
- 高精度なマルチ表示システム「Ivis（アイヴィス）」で、その時々の注意力レベルを表示することができ、さらに注意力レベルが低下してきたときは必要に応じて警報音を発します。
- また、注意力が低下した状態で車線を逸脱したときは、逸脱側のスピーカーから「ブッブッブッ…」という警報音を発します。

■MDAS-Ⅲの作動イメージ



高速道路での居眠り追突事故の低減に大きな効果!

事故の芽は小さいうちに摘み取ることが大切なのです

MDAS-Ⅲの特徴は、運転の単調度や操舵量、蛇行率からファジィ推論によって運転注意力を推定し、手遅れにならない早い段階から警報音を発してドライバーに注意を促す点にあります。運転注意力モニターの中には、ドライバーの閉眼状態等を検出して注意力低下を警報する装置もありますが、MDAS-Ⅲは事故を未然に防ぐため、より早い段階で危険を察知する設計になっています。それは、事故の芽を小さいうちに摘み取ることが交通事故低減に効果的であると考えるからであり、それがまさに三菱ふそうのアクティブセーフティの考え方なのです。

開発本部
アドバンスエンジニアリング部
マネージャー
山本 恵一

MDAS-Ⅲの詳しい解説が
動画でご覧いただけます。

DRIVER'S VOICE バス運転士は、MDAS-Ⅲをこう評価する！

ジェイアールバス関東株式会社

東京支店 輸送課長
三輪 政史 様

オプション設定のころから積極的に導入

「バスは軌道を走る列車と異なり、安全に関して運転士の注意力に依存するウエイトが重いといえます。まして、公道には一般の乗用車も行き交っています。そうした輸送環境のなかで高い安全性を確保するには、運転士をハードでサポートする必要があります。当社はこうした考えから、各種の安全装置を積極的に採用してきました。MDAS-Ⅲ搭載車についても、まだオプション設定だった2007年から導入しています。いまではこうした運転注意力モニターは観光バスに不可欠な装備であり、進化を続けてきたMDAS-Ⅲには信頼を寄せています」

MDAS-Ⅲの存在が安全運転につながっている

「運転士として最も心がけているのは、乗客の方々に不快感を与えない快適な運転です。端的に言えば、バスをいかに揺らさないで走るかです。MDAS-Ⅲは白線を認識してゆるい蛇行でも反応するときがあるので、警報音が鳴らないよう注意して走るよう心がけています。そうした気持ちが安全運転につながっていると思います」

東京支店 運転主任
靍岡 孝明 様

京浜急行バス株式会社

乗務員の安全運転を補う装置はいまや不可欠

「営業路線上、海上に架かる鶴見つばさ橋やアクアラインを走るバスがあるのですが、強い横風を受けてフラついたときにMDAS-Ⅲの警報音が鳴ったという報告を受けています。それ以外はほとんど聞きませんね。乗務員が安全運転を実践している証だと思います。
一方、乗務員になりたいという若い人は慢性的に少なく、40代、50代の乗務員が増えているという懸念材料もあります。そうしたなかで、MDAS-Ⅲなど乗務員の安全運転を補う装置の重要性はますます高まっていると思います。将来的には、衝突軽減装置などと連携して早い段階でブレーキがかかるなど、事故防止のための機能が高まることを期待しています」

運輸部
安全対策サービス
向上担当
課長
生出 淳 様

安全装置に頼り過ぎてはいけない

「運転注意力モニターなど乗務員を支援する安全装置はいまや不可欠ですが、それに頼り過ぎてもいけません。『もしものときは安全装置が助けてくれる』という意識が気の緩みにつながるからです。乗務員への安全教育と安全装置が両輪となって安全運転は確保されるものだと考えています」

運輸部 安全対策
サービス向上担当
事故防止担当 課長補佐
萩原 努 様

濃飛乗合自動車株式会社

運輸事業本部次長
坪之内 敬 様

事故のリスクを回避する“予防安全”に共感

「当社では、ABSの作動体験や山岳路研修など体験・実践を重視した安全教育に力を入れています。乗務時間の管理はもちろん、風邪薬など服用している薬も申告させるなど運転士の体調管理にも細心の注意を払っています。とはいえ、人間が運転するわけですから何が起こるかわかりません。そうしたリスクを回避するためにも安全装置は有効です。特にMDAS-Ⅲは、“予防安全”の観点から、より早い段階で運転士に注意を促すしくみになっているので安心感がありますね」

事前に注意を促してくれるので有難いです

「以前、横風にあおられてMDAS-Ⅲの警報音が鳴ったことがありました。センターラインは踏んでいなかったと思うのですが。それまで体験したことがなかったのでちょっと驚きましたが、運転中MDAS-Ⅲがきちんと作動していることに改めて気づかされました。万一のとき、事前に注意を促してくれるので有難いです」

運転士
沖本 政勝 様

四国高速バス株式会社

自動車事業部 運輸課
助役
橋田 礼儀 様

事故を未然に防ぐ装置として非常に有効

「私たちバス会社にとって、乗客であるお客様の安全確保が何より大切です。白線認識カメラによってバスの蛇行を直ちに乗務員に知らせるMDAS-Ⅲは、事故を未然に防ぐ安全装置として非常に有効であると考えています。安全装置だけでなく、三菱ふそうのバスは足回りや燃費性能、環境性能にも優れていますね。当社の乗務員は三菱ふそうバスのファンが断然多いです」

いざというときに信頼できる装置です

「高速道路での帰路、轍を避けるためにハンドルを切ったときにMDAS-Ⅲの低い警報音がブッ、ブッと鳴ったことが1回ありました。注意力が落ちて蛇行したわけではなかったので一瞬ムッとしましたが（笑）、それだけ敏感に車両の挙動に反応していることに驚かされました。いざというときに信頼できる装置だと思います」

乗務員
長尾 賢治 様

新型エアロスターの印象と期待。

バス事業者の皆様からリアルな声をいただきました。

新採用の反転式スロープ板
（ノンステップ車）

この夏、新型路線バスとして「新型エアロスター」がデビューします。
新型エアロスターは、全国のバス事業者様から寄せられた様々なご要望に少しでも応えるために、「安全」「経済」「環境」を大きな柱として開発を進めて参りました。
同車両の発表に際し、バス事業者の皆様から車両の印象、期待と評価の声をいただきました。その一部をここにご紹介させていただきます。

バス事業者の思想が反映された待望の新型車です。

神奈川中央交通株式会社
運輸営業部長　**渡邊 大和** 様

待望の新型車には、「安全で快適にお客様を輸送する」というバス事業者の思想がしっかりと注がれていると感じました。例えばフロント部も人を惹きつけるデザインに変更され、HID ヘッドランプや反転式スロープ板の採用など、随所にこだわりが感じられます。今後もお客様がホッとする空間を感じられる車両の開発を期待します。

機能性・安全性・快適性が向上し、省エネにも期待。

株式会社じょうてつ
車両・整備課参事　**本間 晋一** 様

路線バスの機能性・安全性・快適性がさらに向上した印象です。コンビネーションメーター・室内灯など各照明がLED化され、省エネと耐久性にも貢献していると思われます。様々な燃費低減機能も導入されているため、ゴー・ストップの多い都市部の走行や冬期渋滞時での走行において燃費が改善されることを期待しています。

ユーザーの声に耳を傾ける真摯さが感じられます。

神姫バス株式会社
バス事業部 運輸課
車両担当課長　**寺尾 昭彦** 様

安全運行に役立つディスチャージヘッドライトや、車椅子による乗降の時間を短縮できる反転式のスロープ板など、このたびの新型車は、ユーザーの声に耳を傾ける車両メーカーとしての真摯な姿勢が反映されているのではないでしょうか。燃料も高騰している折、今後はさらなる燃費向上に期待しております。

燃料タンクの高さがちょうど良いと思います。

東急バス株式会社
運輸部車両課長　**長沢 一徳** 様

次世代のノンステップ標準では燃料タンクの位置が高くなってしまうが、この新型車はタイヤハウスの後ろとしたことで、良い高さをキープできていると思います。ディスチャージヘッドランプも、運転士が喜ぶことは間違いありません。これまでオートマの故障がないので、これからも長く使用できることを期待しています。

積年の課題を解消できることを期待しています。

西日本鉄道株式会社
自動車事業本部
技術部技術課長　**山口 哲生** 様

私たちバス事業者は「安全対策」「環境対策（燃費改善）」「バリアフリー対策」を積年の課題として抱えているにもかかわらず、ここ最近は手詰まり状態でありました。種々の改善が施された「14 型エアロスター」にて、これらの課題を解消できることを期待しています。

反転式スロープで乗務員の負担を軽減できそうです。

名鉄バス株式会社
経営統括部 企画課長　**金森 隆浩** 様

ディスチャージヘッドランプは、夜間の歩行者の早期発見や無灯火の自転車の確認に対して効果大だと期待しています。また車椅子のスロープにおいても、従来の脱着式では乗務員も常に不安な気持ちを持ちながら操作をしていましたが、今回の反転式スロープ板になることで心の負担も大いに低減できると思われます。

郊外路線バスにとって、明るいヘッドライトが嬉しい。

両備ホールディングス株式会社
両備バスカンパニー
運輸部 車両課長　**大山　茂** 様

夜間街灯の少ない区域を走る地方の郊外路線バスにとって、より明るくなったヘッドライトが安全をサポートしてくれることと思います。また乗務員不足の現代にとって、AT 車であることが、マニュアル経験の少ないドライバーには嬉しい限りです。今後とも安全性が高くて乗り心地の良い素晴らしいバスを期待します。

facebook 三菱ふそう / FUSO Japan

社名 五十音順

今日も1日安全運転
セーフティ&エコ ドライブナビ
FUSO TRUCK & BUS MAGAZINE – JULY 2014 –

バスも トラックも

見えない危険から車両を守りましょう!

フレームを錆から守る整備術

フレームや足回りの錆による腐食は、取り付け部品の性能を低下させます。
しかも、最悪の場合、錆による板厚減少によってフレーム破損につながることさえあります。
こうした事態を防ぐには、防錆力を確保する日常点検が不可欠です。
そこで、フレームを錆から守る整備術を改めてご紹介します。

錆を促進する要因は

融雪塩(凍結防止剤)	煤煙、油煙、粉塵、鉄粉、石灰粉、火山灰など	海塩粒子(海水、波しぶき、潮風)	樹液、鳥の糞、虫の死骸

錆を防ぐための定期メンテナンス法は

メンテナンス作業	部位	点検時期
フレーム及び足回りの洗車	■キャブ&シャシ ■ボデー	厳寒期を除き、運行後、毎日実施
錆の発生部はワイヤーブラシ等で除去し、防錆塗装または防錆ワックスを塗布(いずれも水や泥を除去した後に実施してください)	■タイヤスプラッシュを受ける部位 ■水や泥が内部に溜まりやすい部位	トラックは1年ごと、バスは6か月ごと
床下全面に防錆塗装を実施	■シャシ全体	車検時、定期塗装

洗浄方法は

- シャシ部品に付着した融雪塩、泥、ホコリなどは高圧洗車機等で洗浄してください。
- シャシフレームやシャシ足回り部品など、融雪塩の影響により錆が発生しやすく、そのまま放置しておくと腐食が進行し、亀裂や破損に至る恐れがあるので入念に洗浄してください。
- 洗浄の水は塩分を含まない水(水道水)を使用してください。
- シャシフレームのサイドメンバーが箱型断面構造を採用している車両は、サイドメンバーの側面に空いている穴(直径25㎜程度)から内部洗浄してください。
- 洗浄後、錆のある部分は錆を除去し、洗浄乾燥後に防錆塗装を施してください。

注意

高圧洗浄機で洗浄する際は、事前に取扱説明書に記載がある高圧洗浄禁止部位を御確認の上、洗浄をしてください。又、下まわりの洗浄はくれぐれもケガをしないよう注意してください。

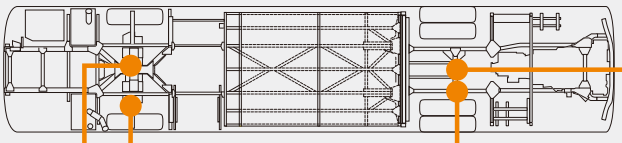
ココに注意!

定期的に確認・清掃が必要な箇所

こうした箇所は融雪塩や石灰などが付着しやすく、錆が発生しやすいので注意が必要です。

※車種・モデルにより点検方法が異なります。詳しくは各車両の取扱説明書をご確認のうえ、忘れずに日常点検・交換を行ってください。

[バスの場合]



RRアクスル周り

センターメンバ部

FRエアスプリング部

RRエアスプリング部

点検・整備についてご不明点などございましたら、お近くの三菱ふそうサービス工場にお問い合わせください。

全国で活躍する

お陰様で三菱ふそうのバスは、これまで全国のバス事業
日々、あらゆる路線で活躍しています。その一部を、事業者

岐阜県

学校法人今小路学園（くるみ幼稚園）

イオン発生機を搭載した送迎バス

園児の健康を第一に考え、何か良いアイデアはないかと三菱ふそうさんにご相談させていただいたところ、いつも送迎バスとして利用していたローザの車内に、イオン発生機を搭載することになりました。お陰様で送迎の時間は、園児ばかりでなく先生たちも衛生的で快適な時間を過ごさせていただいてます。

岐阜県

岐阜乗合自動車株式会社

濃姫をイメージしたラッピングの「濃姫バス」

「信長バス」に続くラッピングバス第2弾として、織田信長の正室「濃姫」をイメージしたイラストラッピングの「濃姫バス」がデビュー。この春から岐阜駅周辺と柳ヶ瀬を循環する柳バスとして運行を開始しています。内装に豪華な着物を連想させる柄をあしらい、窓上には濃姫が生きた時代背景を絵巻物風に装飾。座席シートは厚みのあるものを採用し、車両前方にはゆったり1人掛けシートや買い物袋を掛けることのできるフックも装備しています。

福岡県

西日本鉄道株式会社

二階建てバス「はかた号」

2009年12月に、福岡・北九州⇔東京を結ぶ高速バス路線「はかた号」として二階建てバスを初めて運行しました。これを機に、「プレミアムシート」「ビジネスシート」「エコノミーシート」という3タイプの座席をご用意し、皆様の旅を快適にするためのサービスをご提供させていただいております。

兵庫県

全但バス株式会社

城崎温泉をPRするラッピングバス

城崎温泉（兵庫県豊岡市）が2013年2月に「ミシュラングリーンガイド」にて2つ星認定されたことを受け、PRの一環として豊岡市がラッピングバスの企画を立案しました。そこで全但バスが城崎温泉の美観をモチーフにしたラッピングバスを提供。2013年7月に開催された出発式には、豊岡市のゆるキャラ「玄武岩の源さん」やミシュランマスコットの「ミシュランマン」も応援に駆けつけてくれました。お陰様で城崎には、特に個人で旅行を楽しまれる欧州の方々が増えているようです。

宮崎県

宮崎交通株式会社

パウダールーム付高速バス

宮崎県というリゾート地での移動を快適にお過ごしいただくため、新規開業した宮崎↔延岡の路線にパウダールーム付高速バスを導入しました。通常のトイレのスペースに加え、大きな鏡、洗面台、カーテン付の窓も装備することで移動中のお客様のリフレッシュに役立っています。お陰様で、お客様の評判は上々です。

兵庫県

神姫バス株式会社

西日本で初となる連節バス

関西学院大学神戸三田キャンパスへの学生輸送の充実、市北部にある工業団地への通勤客の混雑緩和とアクセスの向上を目的とした、西日本で初となる連節バスを運行しています。導入後は多方面から注目していただきまして、連節バスの導入を検討されているバス事業会社様からもお問い合わせや視察のお申込みなどをいただいております。

北海道

沿岸バス株式会社　誰もが振り向く「萌えっ子ラッピングバス」

昨年から、様々な“萌えっ子”がお客様をお出迎えする「萌えっ子ラッピングバス」を導入しました。現在は全国の旅行者の方から、「どこへ行けば乗れますか」とお問い合わせが殺到しています。オリジナルの缶バッチや1日乗車券なども好評をいただき、新聞やテレビなどでも取り上げられることが多くなりました。
地元名産の甘エビや焼尻島のサフォーク（仔羊）のラム肉等、美味しい特産と共に羽幌町で皆さんをお待ちしています。

三菱ふそうのバス

者をはじめとする多くの法人のお客様に導入いただき、
の皆様からいただいたメッセージとともにご紹介いたします。

岩手県

南三陸観光バス株式会社

東北の復興を目指して走る三菱ふそう車

南三陸観光バスは2011年3月の東日本大震災により大きな被害を受けましたが、東北の復興を目指して一人でも多くの方に東北を知っていただくために、三菱ふそう車で復活しました。これからも益々元気に、より多くのお客様を乗せて東北を走り回ります。

愛知県

鯱バス株式会社

会社創立60周年、ふそう車両も貢献

ブルーラインと赤い英字ロゴ、「金の鯱」を配した鯱バスの歴史は、昭和28年に始まり、昨年、会社創立60周年を迎えました。名古屋で生まれ育った「鯱バス」は、今日もこれからも、安全・正確・快適な運行と、新しく爽やかなサービスを提供してまいります。

東京都

ROSA

2013東京モーターショー用シャトルバス

2013年東京モーターショーで2台のROSAシャトルバスが六本木⇔ビッグサイト間を走りました。ふそう小型トラックと社名ラッピング車と2013東京横浜ドイツ学園様Oktoberfestでも活躍したカラフルラッピングROSAは東京モーターショーでも大活躍致しました。

FUSO TRUCK & BUS MAGAZINE
2014 7月号[No.027] 2014年7月1日発行(毎月1回1日)
発行 三菱ふそうトラック・バス株式会社 〒212-0058 神奈川県川崎市幸区鹿島田1-1-2
企画・編集 FUSO TRUCK & BUS MAGAZINE 事務局 〒211-0023 神奈川県川崎市中原区大倉町10 TEL.044-331-5579
制作・印刷 富士ゼロックスサービスリンク株式会社

安全・快適性、経済性に磨きをかけて、スタイリッシュに進化。

新型 エアロスター 登場!

AERO STAR

全車、燃費基準を達成!

低排出ガス車認定車
(NOx&PM10%低減)

平成27年度
重量車燃費基準達成

九都県市指定
低公害車

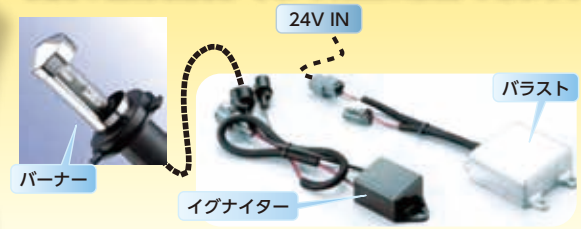
※写真は撮影用特別仕様車(イメージ)

安全・快適性向上

1. ディスチャージヘッドランプ(クラス初)、コーナリングランプを標準装備
2. 優先席「前向き」仕様も設定。また、ホイールベースを延長して定員増を実現(ノンステップ車)
3. 反転式スロープ板を採用(ノンステップ車)
4. 給油口を、スムーズに利用できる高さに設置(ノンステップ車)
5. 路肩灯と室内灯をLED化

AERO STAR **HID交換Kit**

お使いのエアロスターのロービームをディスチャージ化すると、夜間の前方視界が今まで以上に確保できます。



H4タイプHIDバルブキット バラスト+バーナー+イグナイター+24VIN

トラック・バスのお問い合わせは、三菱ふそう販売店へ

facebook 三菱ふそう / FUSO Japan

YouTube 三菱ふそう 公式チャンネル
http://www.youtube.com/user/Fusoofficial

三菱ふそうトラック・バス株式会社
www.mitsubishi-fuso.com